※令和４年度以降入学生用

学校番号	2001

令和８年度　家庭科

教科	家庭科	科目	保育演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	生活学 Navi2025　資料＋成分表（実教出版）（継続使用）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

よりよい保育環境を保障するために、家庭・地域・社会が果たす役割について様々な事例から考えましょう。
子どもをはじめ、全ての世代が暮らしやすくて真に豊かさを実感できる共生社会を実現するためにはどのような条件が必要なのか、共に探究しましょう。

2　学習の到達目標

・乳幼児の発達・特性・生活について学び、児童文化財製作や、テーマ学習、発表、意見交換を通し、子どもの発達や特性、保育に関する知識と技術を習得し、「あそびの意義」について自ら探究し続け、子どもの人権や福祉についてより一層理解を深めていくことができる。
・「子どもの権利条約」について自分で取り上げた事例について研究し、よりよい保育環境を保障するために地域・社会が果たす役割について探究し、これからの社会を担う立場として、子どもの発達や支援に寄与しようとする能力と態度を身につけている。
・世代を超えて様々な立場の人が共に豊かさを実感できる社会を構築していくためには、どのような条件が必要か、事例研究し、その背景について自ら考察を深めようとする態度を身につけ、それらの解決策を模索していくための基礎的な知識について繰り返し理解を深めるとともに、自分の意見をまとめ発表したり、意見交換したりすることを通し、社会に自分の意見を提唱していくことができる基本的な力を身につけている。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用

観点の趣旨	「人の発達」の意味や内容について基礎的な知識を正しく理解している。 「あそび」の意義について理解を深めるための基礎的な知識を身につけている。 各地の郷土の伝統的な児童文化財に着目し、先人たちの知恵や工夫に触れ、現代社会を生きる私たちと同様、家族や郷土への愛が積み重なって生活文化が築かれてきたことに気づく。 児童文化財製作実習や調査研究を通して体験的に学ぶことで、子どもの発達に関する基礎的知識や技能を習得している。 少子高齢化が進行する現代・未来社会において、様々な立場の人が世代を超えてすべての人が豊かさを実感できる共生社会を構築していくことを考えていくための基礎的なデータや問題点を理解している。	児童文化財の製作を通し、人の「発達」について理解を深め、「あそび」の意義について探究する。 各地の郷土の伝統的な児童文化財にはどのようなものがあるか、そのねらいや工夫点、生活文化の奥深さ、人とのかかわり方について考察することを通し、現代社会における「あそび」をめぐる問題点を発見し、その背景について考察を深め、それらの解決策を模索し、「遊びの意義」について探究し、レポート・新聞・小論文等で自分の言葉で発表しあい、意見交換をすることができる。 「子ども」をめぐる現代・未来社会の環境においてどのような視点が必要なのか、また、世代を問わず様々な立場の人が共に生き、豊かさを実感できる社会を構築するために、どのような視点が大切なのかを考え、解決策を模索し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を身につけている。	これからの社会を担う生活主体者として、どのような視点が大切かを自ら考え、研究・実践しようとする態度を身につけている。 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために、実践しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定（１・２学期末にも仮評定を算出）にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)

※令和４年度以降入学生用

一学期	子どもの生活＝あそび あそびの意義を考える	・「保育演習」の学び方 【毎時始めに絵本の読み聞かせ・意見交換】 （毎時1人1冊） ＋ 【毎時子どもをめぐる記事を中心とした事例研究・意見交換】 ・「発達」とは ・18歳から大人へ ―命への責任― ≪児童文化財A（オリジナル布絵本）製作に向けて①（下書き）≫ ―ストーリーの展開・ページ構成を考える＝（下書き） ・子どもに関する法律 ―男女共同参画社会を生きる― ・世界の結婚・出産・育児に関する慣習・法律との比較 ≪事例研究・発表≫ ・現代の子どものあそびをめぐる問題点とその解決方法を考える ≪小論文作成≫	a：人間の発達について正しく理解し、それぞれの発達段階における課題について考えるための基礎的な知識を理解している。 青年期は自己のアイデンティティーを確立する時期であると同時に、未来への責任を伴う重要な時期であることを十分理解している。 子どもの心身の発達にはまわりの大人の働きかけや児童文化財の役割が大きいことについて理解している。 子どもに関する法律について、その内容だけでなく、制定されるまでの背景やその後の実現状や課題について理解している。 b：児童文化財の製作を通し、現代の子どもをめぐる「あそびの意義」について探究し、家庭・地域・社会の果たす役割やそれぞれの課題について考察を深めている。 青年期の課題を自分の問題として見出して課題を設定し、実践を評価改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして、生涯を見通して生活の課題を解決する力を身につけている。 c：自分らしい生き方や、社会の一員としての責任、「子どもにとって望ましい環境とは」について繰り返し考察を深め、だれもが暮らしいやすく豊かさを実感できるよりよい社会の構築に向け、適切な意思決定に基づいて課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、より良い社会の課題に向け、地域社会に参画しようとするとともに、生活を創造し、実践しようとしている。	ワークシート 新聞 発表 作品	ワークシート 新聞 発表 意見交換 作品 ファイル	授業観察 ワークシート 新聞 発表 意見交換 作品 ファイル

※令和４年度以降入学生用

二学期	子どもにとって望ましい環境とは	【毎時始めに絵本の読み聞かせ・意見交換】 （毎時1人1冊） ＋ 【毎時子どもをめぐる記事を中心とした事例研究・意見交換】 「遊びの意義」 ≪小論文発表・意見交換≫ ≪児童文化財A（オリジナル布絵本）製作に向けて②≫ （表紙・各ページ仕上げ） ・「子どもの権利条約」についての各自の事例研究・新聞作成・発表・意見交換 ・子どもの権利と福祉① ・共生社会を生きる① ≪児童文化財A（オリジナル布絵本）製作に向けて③ （発表・意見交換・レポート作成）≫ ≪児童文化財B共同製作≫ （季節の壁面構成）	a:児童文化財、中でも絵本が子どもの心身の発達にどのように影響しているかを十分理解している。 「子どもの権利条約」や、子どもの権利と福祉について基礎的な知識を身につけ、現状と課題について理解するとともに、保育に関する生活情報の収集・整理が適切にできる。 b: 児童文化財の製作や事例研究を通し、子どもの権利について探究し、家庭・地域・社会の果たす役割やそれぞれの課題について考察を深めている。 命への責任や、子どもをめぐる環境の重要性を自分の問題として見出して課題を設定し、実践を評価改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして、生涯を見通して生活の課題を解決する力を身につけている。 c：これからの共生社会を生きる生活主体として、男女が協働して社会の一員としての命への責任を果たすことができる社会を構築していけるよう、また「子どもにとって望ましい環境とは」について、繰り返し考察を深め、誰もが暮らしやすく豊かさを実感できるよりよい社会の構築に向け、適切な意思決定に基づいて課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、より良い社会の課題に向け、地域社会に参画しようとするとともに、生活を創造し、実践しようとしている。 保育に関する生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動することについて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、より良い社会の課題に向け、地域社会に参画しようとするとともに、生活を創造し、実践しようとしている。	ワークシート 新聞 発表 小論文 作品	ワークシート 新聞 発表 意見交換 小論文 作品 ファイル	授業観察 ワークシート 新聞 発表 意見交換 作品 ファイル

※令和４年度以降入学生用

三学期	誰もが暮らしやすい社会を目指して	【毎時始めに 絵本の読み聞かせ・意見交換】 （毎時1人1冊） ＋ 【毎時子どもをめぐる記事を中心とした事例研究・意見交換】 ・子どもの権利と福祉② ・共生社会を生きる②	a:子どもの福祉の重要性を十分理解し、共生社会を成立させるための課題、共に生き、共に支える組織・制度・法律の必要性、地域で行われている活動について理解するとともに、全ての世代、障がいの有無に関係なく、年齢・性別の垣根を超え、あらゆる人が支えあって生きる社会のあり方についての情報の収集・整理を適切にできたり、参加したりする技術を身につけている。 b:子どもを取り巻く環境おける問題点などを見出して課題を設定し、誰もが暮らしやすい社会の構築に向けて、生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動することや、責任ある保育のあり方について、問解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして、生涯を見通して生活の課題を解決する力を身につけている。 c:広義の福祉の視点から、子どもをはじめ、様々な人が共に生きる社会の課題について、地域社会の一員として生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動することなどについて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、より良い社会の課題に向け、地域社会に参画しようとするとともに、生活を創造し、実践しようとしている。	ワークシート 発表	ワークシート 発表 意見交換 作品 ファイル	授業観察 ワークシート 発表 意見交換 ファイル

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度